

パピーウォーカーを募集しています！

<委託>

将来、盲導犬や繁殖犬とするための子犬を、生後2～4ヶ月齢から1歳の誕生日まで育てていただく一般の協力家庭をパピーウォーカーと言います。当協会では、協会で繁殖・選別した主にラブラドルリトリバー種の子犬達をお預けしています。

<成長>

子犬にとって大切なのは、家族と室内で過ごす時間です。人の優しさに触れることで、人に対する信頼感を培います。家庭内の生活ルールを覚えたり生活音に慣れたり、毎日の運動の中で車や雑踏にも慣れていきます。パピーウォーカー中に得た経験は、将来盲導犬として視覚障害者の目となるための基礎になります。

<問題解決>

飼育に関しては、協会の専門スタッフが指導させていただきます。報告書のチェックや「しつけ教室」などで、子犬の成長や学習の進歩を評価したり、質問にお答えします。

電話でのアドバイスや訪問指導もいたしますので、問題などが生じても早期解決に努めさせていただきます。個々のご家庭と子犬にあったご指導をしておりますので、ご安心下さい。

<諸費用>

犬のハウスとなるケージやトイレトレーニング用サークル、食器、首輪、リード、手入れ道具などは協会から貸し出します。ドッグフードやフィラリア・ノミ・ダニの予防薬は、協会からの支給となります。医療費につきましては、領収書と引き換えに返金させていただきます。

その他、犬のおもちゃやトイレ用のシーツなどの費用はご負担願います。

<別れ>

子犬が1歳の誕生日を迎える時期には、お別れをしなければなりません。大切に育てて下さった子犬を、心から応援して送り出してあげて下さい。

<その後>

パピーウォーキング終了後に協会に入学した犬達は、身体・性格面での適正テストにより総合的に判断されます。特に問題がなければ、約8ヶ月～1年間の訓練後にアイマスクテストによって最終の評価がされます。これに合格すれば盲導犬候補犬となり、指

導員によって慎重に組み合わされた視覚障害者と約40日間、協会施設内に宿泊するユニット訓練を受け、盲導犬となって社会に参加します。

また、血統や訓練成績を考慮して、途中で繁殖犬となる犬もいます。

残念ながら盲導犬になれなかった場合は、協会のイベントに参加するPR犬として活躍したり、適性があれば介助犬や聴導犬になる犬もいます。他にも、元のパピーウォーカーや信頼できるご家庭に引き取られペットとして暮します。

約10ヶ月間にわたり、将来盲導犬にするという目的を持った子犬を育てることは、大

変な仕事です。いたずらをしたり、しつけがうまくいなくて悩むこともあるでしょう。

でも、その子犬が成長して盲導犬となり視覚障害者のパートナーとして共に生きる姿を

見る時、きっとその苦労は大きな喜びに変わることでしょう。

★パピーウォーカーには、次の様な条件が必要になります。

- 1、子犬の世話に十分な時間を割くことができること（仕事/パート/アルバイトをされている方、ご年配の方は不可）
- 2、家族全員が犬好きなこと
- 3、犬（できれば大型）の飼育経験があり、現在、犬を飼っていないこと
- ※ 飼育経験がない方は、ご相談に応じます。
- 4、ドッグフード、医療費以外の費用を負担していただけること
- 5、毎日、1時間くらい外へ連れ出し、さまざまな環境に慣らしていただけること
- 6、室内飼育ができること（廊下や玄関は不可）
- 7、定期的な報告書を提出し、講習会に参加していただけること
- 8、小学生高学年未満の子供がいないこと
- 9、愛知、岐阜、三重、静岡近郊にお住まいのこと
- 10、盲導犬協会の飼育方針に従っていただけること
- 11、このボランティアが視覚障害者福祉の一環であることをご理解いただき、無報酬であることをご了承いただけること
- 12、委託犬の写真や記録を、個人のホームページやブログ、その他のメディア関係に掲載しないこと

※ 上記のパピーウォーカーの必要条件を全て満たした方は、別紙のアンケートにお答えいただき、以下にご返送下さい。

〒455-0066

名古屋市港区寛政町 3-41-1

中部盲導犬協会 パピーウォーカー担当 宛

★パピーウォーカー登録までの流れ

皆さまからのお申し込み

↓

アンケートの送付と返信

↓

書類審査（この時点でお断りすることもあります）

↓

自宅を訪問しての面接と登録

↓

子犬の委託（時期は、まちまちです）

※ この他、何かご質問などあれば、遠慮なくお問い合わせ下さい。

社会福祉法人 中部盲導犬協会

訓練指導部 育成繁殖担当

TEL:052-661-3111／FAX:052-661-3112

E-mail : info@chubu-moudouken.jp